

「Cisco Linksys WRT54GC」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)の注意喚起

IPA(独立行政法人情報処理推進機構、理事長:藤江 一正)は、「Cisco Linksys WRT54GC」におけるセキュリティ上の弱点(脆弱性)に関する注意喚起を、2011年1月21日に公表しました。

「Cisco Linksys WRT54GC」を応答不能状態にされる可能性があります。対策方法は「**開発者が提供する対策済みファームウェアに更新する**」ことです。

1. 概要

シスコシステムズ社(Cisco Systems, Inc.)が提供する「Cisco Linksys WRT54GC」は、ネットワークを相互接続するためのルータです。

「Cisco Linksys WRT54GC」には、細工されたHTTPリクエストの処理に問題があるため、バッファオーバーフローというセキュリティ上の弱点(脆弱性)が存在します。この弱点が悪用されると、「Cisco Linksys WRT54GC」を応答不能状態にされる可能性があります。

下記のサイトから対策済みファームウェアを入手して、更新してください。

<http://tools.cisco.com/security/center/viewAlert.x?alertId=22228>

最新情報は、次のURLを参照下さい。

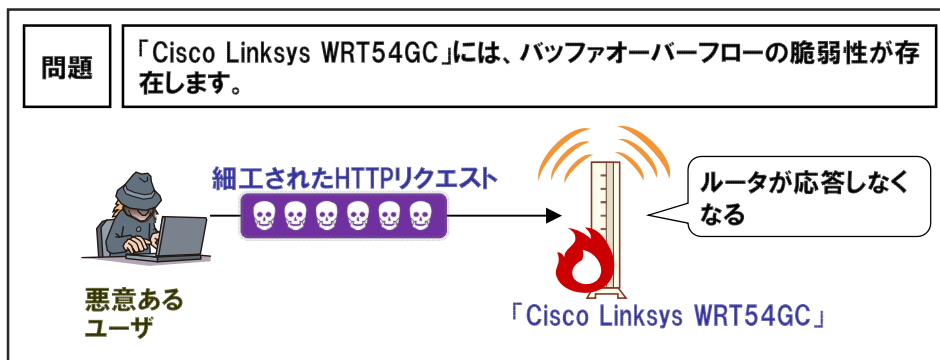
<http://jvndb.jvn.jp/jvndb/JVNDB-2011-000007>

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、以下の報告者からIPAが届出を受け、JPCERT/CC(一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター)が製品開発者と調整を行ない、2011年1月21日に公表したものです。

報告者:株式会社フォティンフォティ技術研究所 鵜飼 裕司 氏(2009年8月17日届出)

2. 脆弱性による影響

「Cisco Linksys WRT54GC」を応答不能状態にされる可能性があります。



3. 対策方法

対策方法は「開発者が提供する対策済みファームウェアに更新する」ことです。

4. 本脆弱性の深刻度¹

(1) 評価結果

本脆弱性の深刻度 (CVSS ² 基本値の範囲)	<input type="checkbox"/> レベル I (注意) (0.0~3.9)	<input type="checkbox"/> レベル II (警告) (4.0~6.9)	<input checked="" type="checkbox"/> レベル III (危険) (7.0~10.0)
本脆弱性の CVSS 基本値			7.8

(2) CVSS 基本値の評価内容

AV: 攻撃元区分	<input type="checkbox"/> ローカル	<input type="checkbox"/> 隣接	<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク
AC: 攻撃条件の複雑さ	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低
Au: 攻撃前の認証要否	<input type="checkbox"/> 複数	<input type="checkbox"/> 単一	<input checked="" type="checkbox"/> 不要
C: 機密性への影響	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 部分的	<input type="checkbox"/> 全面的
I: 完全性への影響	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 部分的	<input type="checkbox"/> 全面的
A: 可用性への影響	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 部分的	<input checked="" type="checkbox"/> 全面的

■: 選択した評価結果

AV: Access Vector, AC: Access Complexity, Au: Authentication, C: Confidentiality Impact, I: Integrity Impact, A: Availability Impact

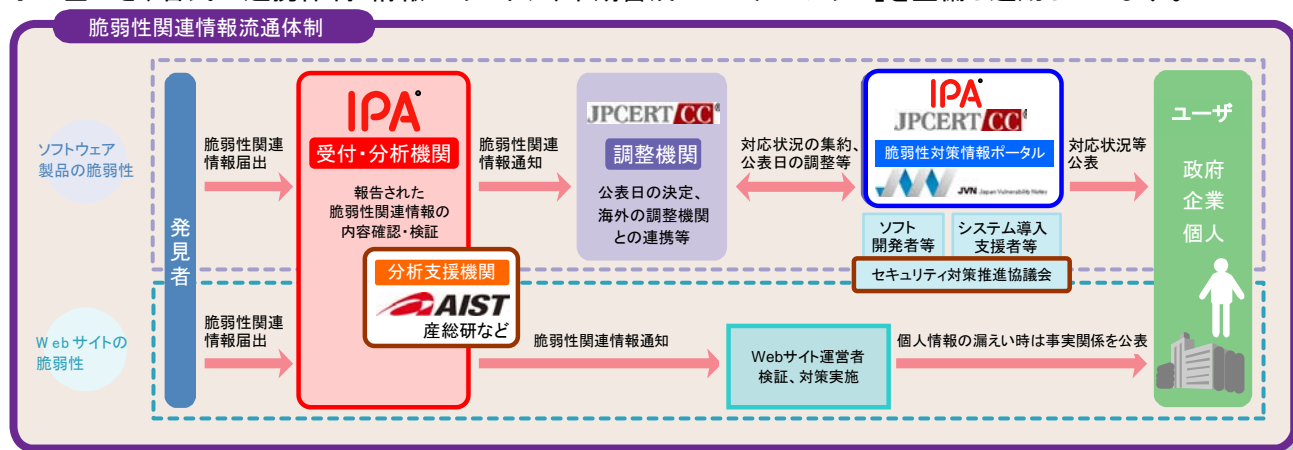
5. 本脆弱性の CWE³分類

本脆弱性の CWE 分類は、「バッファエラー (CWE-119)」です。

6. 参考情報

(1) 「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」について

ソフトウェア製品及びウェブサイトの脆弱性対策を促進し、コンピュータウイルスやコンピュータ不正アクセス等によって、不特定多数のコンピュータ(パソコン)に対して引き起こされる被害を予防するため、経済産業省の告示に基づき、官民の連携体制「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」を整備し運用しています。



※JPCERT/CC: 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、産総研: 独立行政法人 産業技術総合研究所

■ 本件に関するお問い合わせ先
 IPA セキュリティセンター 渡辺/大森
 Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
 ■ 報道関係からのお問い合わせ先
 IPA 戦略企画部広報グループ 横山/大海
 Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

¹ 脆弱性の深刻度評価の新バージョン CVSS v2 への移行について。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityLevel2.html>

² Common Vulnerability Scoring System. 共通脆弱性評価システム。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSS.html>

³ Common Weakness Enumeration. 共通脆弱性タイプ一覧。 <http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CWE.html>